

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 民生博愛会

ホームヘルパーステーション清華園

配食サービス事業

令和3年度事業実施内容

1. 配食サービス事業（北斗市委託事業）

1 配食サービス事業

今年度実績、収入額7,968千円（前年比112%）、利用者延べ人数567人（前年比105%）、取扱食数8,845食（前年比114%）で、全て前年を上回った。

年間の状況として、入院や入所・死亡の方もみられるものの、新規の利用を希望される方や利用回数の多い方が増え、収入増につながった。

今後の事業展開として、まだまだ需要がある事業と思われるため、各種関係機関へのアピールや広報活動を行い、更なる収入増を目指したい。

また、安定した利用の継続のため、アンケートによる嗜好の調査、必要な方への働きかけを強化してもらえよう、北斗市・包括支援センターとの密な連携を図り、情報の共有を行っていくことが重要である。

2 総括

職員の技術や知識の習得の継続、リスクに対する研修の取り入れができておらず、誤配や配達不備により利用者にご迷惑をかけてしまう事があり、反省する点でした。また、職員が1名退職した事もあり、年2回行っていたアンケート調査も十分に行えず、食数は増えたものの、反省しなければならない点が多くありました。今後はきちんと行っていきたい。

重点目標に対する反省

1. 利用者の調査票を基に状況やニーズを把握し、各関係機関との連携を図りながら、サービス提供する。

特に問題なく、変更が生じた際の連携も図れた。

2. 北斗市・北斗市包括支援センター・各居宅事業所との情報交換・共有を行い、身体状況を把握する。又、年2回のアンケートを実施し、栄養・嗜好を考慮した食事の提供を行う。

こちらで知り得た情報は随時関係機関へ伝えました。しかし、年2回のアンケートは職員不足のためできず、年1回となった。

3. 利用者の体調把握や安否確認の体制強化・体調変化があった場合の、迅速な各関係機関への連絡・報告体制を整える。

特に虐待や安否不明等の利用者もいなかった。体調不良に関しては、すぐに各関係機関やご家族への連絡・報告を行った。

4. 感染症予防を徹底する。配食の受渡し時や回収時にも十分な注意を払い行うとともに、職員自らが感染源にならないよう、自己の健康管理の徹底と研修会に必ず参加し、知識を習得し感染予防に努める。

利用者へ注意喚起も行い、感染症の恐れがある方に関しては、防護服等の着用で業務にあたりました。また、職員各々の健康管理についても、施設の指針に沿うよう指導し、問題はなかった。

5. 人権・接遇に重点を置いた研修や介護技術等の職員研修の実施する。

行えていません。申し訳ありません。今後実施します。